

世界新時代株式ファンド (予想分配金提示型) 【愛称：World Change】

追加型投信／内外／株式 日経新聞掲載名：世界新時代分

第9作成期 2024年7月27日から2025年1月27日まで

第49期 決算日
2024年8月26日

第50期 決算日
2024年9月26日

第51期 決算日
2024年10月28日

第52期 決算日
2024年11月26日

第53期 決算日
2024年12月26日

第54期 決算日
2025年1月27日



受益者の皆さまへ

平素は格別のお引立てに預かり、厚くお礼申し上げます。

当ファンドはマザーファンドへの投資を通じて、世界の取引所に上場している株式等に投資し、信託財産の中長期的な成長を目指します。当作成期についても、運用方針に沿った運用を行いました。

今後ともご愛顧のほどお願い申し上げます。



三井住友DSアセットマネジメント

〒105-6426 東京都港区虎ノ門1-17-1
<https://www.smd-am.co.jp>

当作成期の状況

基準価額（作成期末）	11,907円
純資産総額（作成期末）	5,394百万円
騰落率（当作成期）	+13.2%
分配金合計（当作成期）	900円

※騰落率は、分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したものです。

■口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ

お取引のある販売会社へお問い合わせください。

■当運用報告書についてのお問い合わせ

コールセンター 0120-88-2976
受付時間：午前9時～午後5時(土、日、祝・休日を除く)

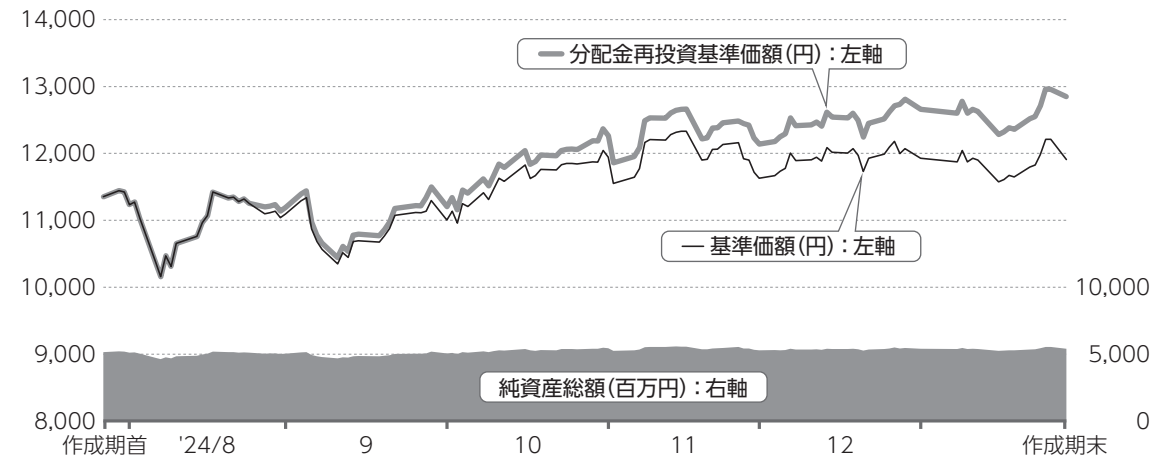
当ファンドは、信託約款において「運用報告書(全体版)」に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めており、次の手順でご覧いただけます。なお、印刷した「運用報告書(全体版)」はご請求により交付させていただきますので、販売会社までお問い合わせください。

【閲覧方法】<https://www.smd-am.co.jp/fund/unpo/>にアクセス→ファンド名を入力→検索結果からファンドを選択

1 運用経過

基準価額等の推移について(2024年7月27日から2025年1月27日まで)

基準価額等の推移



※分配金再投資基準価額は、作成期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

作成期首	11,352円
作成期末	11,907円 (当作成期既払分配金900円(税引前))
騰落率	+13.2% (分配金再投資ベース)

分配金再投資基準価額について

分配金再投資基準価額は分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示します。

※分配金を再投資するかどうかにについては、受益者の皆さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額などによって課税条件も異なります。したがって、受益者の皆さまの損益の状況を示すものではありません。(以下、同じ)

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

基準価額の主な変動要因(2024年7月27日から2025年1月27日まで)

当ファンドでは、マザーファンドへの投資を通じて、新時代への変化を体現するビジネスを行う企業に着目します。新時代への変化によって、成長が見込まれる投資テーマの中から、独特の商品・サービスやビジネスモデルにより、競争を勝ち抜く企業に集中投資を行います。

実質組入外貨建資産については、対円での為替ヘッジを行っていません。

上昇要因

- 米景気が底堅い中で企業業績が堅調に推移したこと
- 欧米でインフレ率の鈍化が進展する中で各国中央銀行が利下げを開始したこと

下落要因

- 米雇用市場が底堅く、年末にかけて利下げ期待が剥落したことにより世界株式市場が一時、調整したこと

1 万口当たりの費用明細 (2024年 7 月 27 日から 2025 年 1 月 27 日まで)

項 目	金額	比率	項目の概要
(a) 信 託 報 酬	93円	0.802%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×(経過日数／年日数) 期中の平均基準価額は11,544円です。
(投 信 会 社)	(45)	(0.390)	投信会社：ファンド運用の指図等の対価
(販 売 会 社)	(45)	(0.390)	販売会社：交付運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファン ドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(3)	(0.022)	受託会社：ファンド財産の保管および管理、投信会社からの指図 の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	2	0.018	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数
(株 式)	(2)	(0.018)	売買委託手数料：有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う 手数料
(先物・オプション)	(－)	(－)	
(投資信託証券)	(－)	(－)	
(c) 有価証券取引税	0	0.002	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数
(株 式)	(0)	(0.002)	有価証券取引税：有価証券の取引の都度発生する取引に関する 税金
(公 社 債)	(－)	(－)	
(投資信託証券)	(－)	(－)	
(d) そ の 他 費 用	1	0.011	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(1)	(0.006)	保管費用：海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管お よび資金の送回金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.002)	監査費用：監査法人に支払うファンドの監査費用
(そ の 他)	(0)	(0.003)	そ の 他：信託事務の処理等に要するその他費用
合 計	96	0.833	

※期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

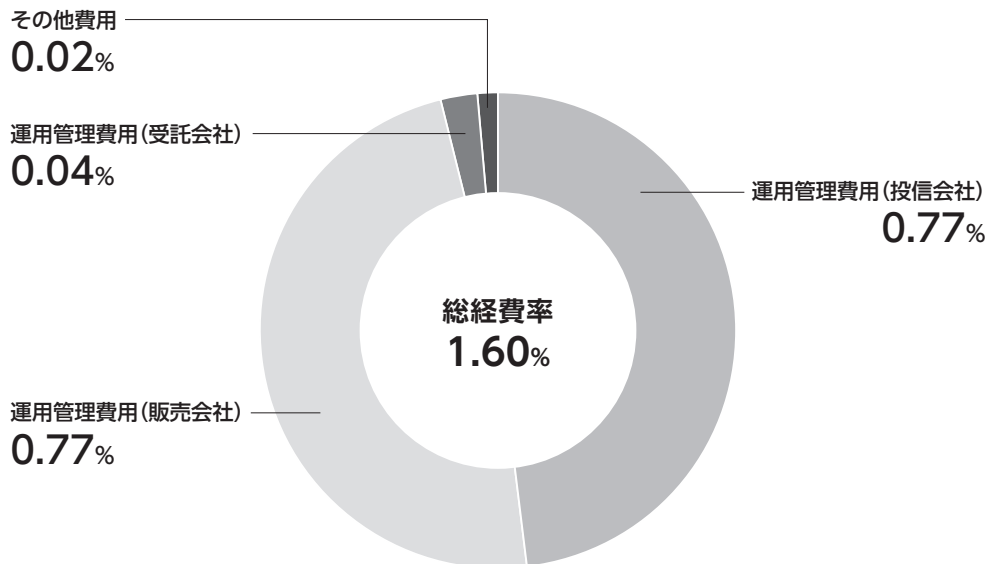
※比率欄は 1 万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して 100 を乗じたものです。

※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

※売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。



参考情報 総経費率(年率換算)



※各費用は、前掲「1万口当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

※各比率は、年率換算した値(小数点以下第2位未満を四捨五入)です。

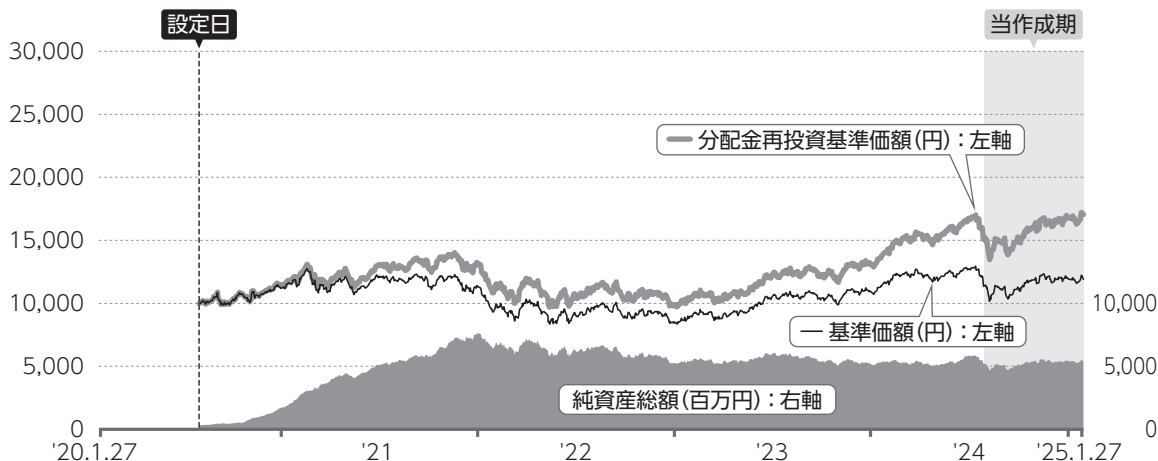
※上記の前提条件で算出しているため、「1万口当たりの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。なお、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率換算)は1.60%です。

最近5年間の基準価額等の推移について(2020年1月27日から2025年1月27日まで)

当ファンドは、ファンド設定後5年間を経過していないため、設定日(2020年7月31日)以降の情報を記載しています。

最近5年間の推移



		2020.7.31 設定日	2021.1.26 決算日	2022.1.26 決算日	2023.1.26 決算日	2024.1.26 決算日	2025.1.27 決算日
基準価額	(円)	10,000	11,769	9,329	8,801	11,574	11,907
期間分配金合計(税引前)	(円)	—	310	1,450	0	470	2,000
分配金再投資基準価額騰落率(%)		—	21.0	-10.4	-5.7	37.3	21.4
純資産総額	(百万円)	321	2,341	6,435	5,333	5,318	5,394

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

投資環境について(2024年7月27日から2025年1月27日まで)

世界の株式市場は上昇しました。為替市場では米ドルに対してやや円安となりました。

株式市場

世界の株式市場は総じて上昇しました。主な市場では米国株式や欧州株式が上昇しました。

米国株式は、景気が底堅く推移する中で、FOMC（米連邦公開市場委員会）の利下げ実施が好感されて上昇しました。

欧州株式は欧州域内や中国の景気に対する警戒が継続したものの、ECB（欧州中央銀行）が複数回利下げを実施したことが支援材料となるなど一進一退の展開となり、期を通じて見ると上昇しました。

為替市場

為替市場

米ドル・円は、日銀の利上げ観測などから一時、米ドル安・円高となりましたが、その後は米利下げ期待が剥落する中で米ドル高・円安が進展しました。

ポートフォリオについて(2024年7月27日から2025年1月27日まで)

当ファンド

期を通じて「世界新時代株式マザーファンド」を高位に組み入れることにより、世界の株式市場への投資を行いました。

世界新時代株式マザーファンド

「企業戦略」では、カスタムAI半導体開発で高い競争力を持つブロードコム(米国)を新たに組み入れた一方で、欧米のEV(電気自動車)需要鈍化の影響が懸念されるアナログ・デバイス(米国)などを全売却しました。引

き続き、生成AIへの投資や活用による恩恵を期待できる生成AI関連銘柄のウェイトを高く保有しています。

「ライフスタイル」では、配信プラットフォームの多様化やグローバル化の恩恵が期待できるIP(知的財産)コンテンツ関連銘柄に注目し、サンリオ(日本)などを組み入れました。また、中国のオンライン旅行代理店市場で圧倒的なシェアを持つトリップドットコムグループ(中国)も組み入れ、底堅い旅行需要の恩恵が期待できるコト消費に関連する銘柄のウェイトを高く維持しています。

「グリーンテック」に関しては、水関連事業

に強みを持つテトラ・テック(米国)やガスタービンで競争力の高い三菱重工業(日本)を組み入れた一方で、ヒートポンプの競争激化懸念からダイキン工業(日本)を売却しました。再生可能エネルギー投資や電力インフラ更新が拡大する中で重要性が高まっているグリッドインフラストラクチャー関連のウェイトを高くしています。

「医療・健康」は、自己免疫疾患治療関連のリジェネロン・ファーマシューティカルズ(米国)を組み入れた一方で、主要事業の競争激化が懸念されるエドワーズライフサイエンス(米国)を売却しました。米政権の政策不透明感などから全体ではウェイトを抑制しています。

ベンチマークとの差異について(2024年7月27日から2025年1月27日まで)

ベンチマークおよび参考指数を設けていませんので、この項目に記載する事項はありません。

分配金について(2024年7月27日から2025年1月27日まで)

期間の1万口当たりの分配金(税引前)は、基準価額水準等を勘案し、以下の通りといたしました。なお、留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用いたします。

(単位：円、1万口当たり、税引前)

項 目	第49期	第50期	第51期	第52期	第53期	第54期
当期分配金	100	100	100	200	200	200
(対基準価額比率)	(0.89%)	(0.89%)	(0.84%)	(1.65%)	(1.64%)	(1.65%)
当期の収益	－	5	4	4	177	109
当期の収益以外	100	94	95	195	22	90
翌期繰越分配対象額	2,528	2,433	2,338	2,142	2,120	2,029

※単位未満を切り捨てているため、「当期の収益」と「当期の収益以外」の合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。
※「対基準価額比率」は、「当期分配金」(税引前)の期末基準価額(分配金(税引前)込み)に対する比率で、当ファンドの収益率とは異なります。

2 今後の運用方針

当ファンド

引き続き「世界新時代株式マザーファンド」を高位に組み入れて運用を行います。

世界新時代株式マザーファンド

世界は今、大きな変革期を迎えています。AIやIoT（物のインターネット化）などの新しいテクノロジーが医療、食品、エネルギーなど幅広い産業に浸透することで、革新的な製品やサービスが様々な分野で誕生する時代に入ったと思われます。当ファンドでは、特に顕著な変化として、「ライフスタイル」、「企業戦略」、「医療・健康」、「グリーンテック」に注目しており、中長期的な視点に基づ

き、ユニークな商品・サービス、ビジネスモデルにより競争に勝ち抜くと判断した銘柄に集中投資を行います。

米国では金融政策と景気動向に注目が集まっています。雇用や物価指標が緩やかな低下傾向にある一方で、景気は底堅く推移しており、利下げペースに注目が集まっています。また足元では、トランプ新大統領の政策に対する警戒感が株式市場のボラティリティ（変動性）を高める要因となっています。

当ファンドではそのような変化の激しい投資環境の中でも着実に業績成長できる各テーマの勝ち組銘柄にグローバルで厳選投資を行っており、それらの銘柄は引き続き上昇する余地が大きいと考えています。

3 お知らせ

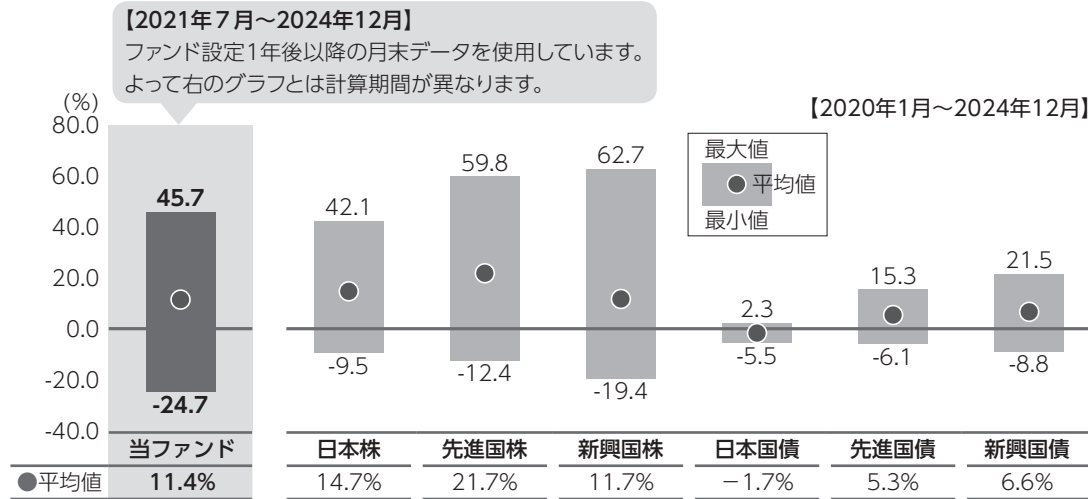
約款変更について

該当事項はございません。

4 当ファンドの概要

商 品 分 類	追加型投信／内外／株式
信 託 期 間	2020年7月31日から2030年7月26日まで
運 用 方 針	マザーファンドへの投資を通じて、世界の取引所に上場している株式等に投資し、信託財産の中長期的な成長を目指します。
主 要 投 資 対 象	当ファンドは以下のマザーファンドを主要投資対象とします。 世界新時代株式マザーファンド 世界の株式等
当 ファ ン ド の 運 用 方 法	■構造的な変化により成長が見込まれる分野で、高い競争優位性を有する世界の企業の株式に厳選して投資します。 ■企業の成長見通しや株価の割安度等の分析・評価を行い、銘柄を選定します。 ■実質組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。
組 入 制 限	当ファンド ■株式への実質投資割合には、制限を設けません。 ■外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。 世界新時代株式マザーファンド ■株式への投資割合には、制限を設けません。 ■外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分 配 方 針	■毎月26日(休業日の場合は翌営業日)に決算を行い、分配を行います。 ■分配対象額は、経費控除後の利子、配当等収益と売買益(評価損益を含みます。)等の範囲内とします。 ■原則として、各計算期末の前営業日の基準価額(支払済み分配金(1万口当たり、税引前)累計額は加算しません。)に応じた金額の分配を目指します。ただし、分配対象額が少額な場合、各計算期末の前営業日から当該計算期末までに基準価額が急激に変動した場合等には、分配を行わないことがあります。 ※委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

5 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



※上記期間の月末ごとに、それぞれ直近1年間の騰落率を算出し、最大・平均・最小を表示しています。よって、決算日に対応した数値とは異なります。

※当ファンドの騰落率は、分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したものです。

※全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

各資産クラスの指数

日本株	TOPIX(東証株価指数、配当込み) 株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社が算出、公表する指数で、日本の株式を対象としています。
先進国株	MSCIコクサイ・インデックス(グロス配当込み、円ベース) MSCI Inc.が開発した指数で、日本を除く世界の主要先進国の株式を対象としています。
新興国株	MSCIエマージング・マーケット・インデックス(グロス配当込み、円ベース) MSCI Inc.が開発した指数で、新興国の株式を対象としています。
日本国債	NOMURA-BPI(国債) 野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表する指数で、国内で発行された公募固定利付国債を対象としています。
先進国債	FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース) FTSE Fixed Income LLCにより運営されている指数で、日本を除く世界の主要国の国債を対象としています。
新興国債	JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド(円ベース) J.P. Morganが算出、公表する指数で、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象としています。

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースとしています。

※上記各指数に関する知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。また、上記各指数の発行者および許諾者は、当ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

6 当ファンドのデータ

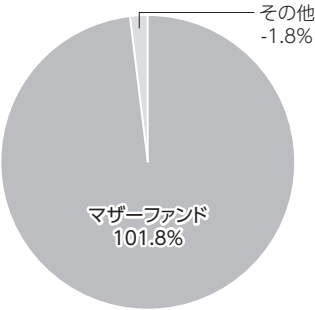
当ファンドの組入資産の内容 (2025年 1月27日)

組入れファンド等

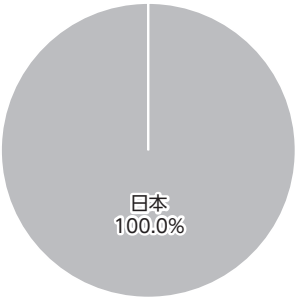
銘柄名	組入比率
世界新時代株式マザーファンド	101.8%
コールローン等、その他	-1.8%

※比率は、純資産総額に対する割合です。

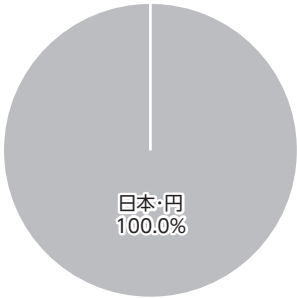
資産別配分 (純資産総額比)



国別配分 (ポートフォリオ比)



通貨別配分 (純資産総額比)



※未収・未払金等の発生により、数値がマイナスになることがあります。

純資産等

項目		第49期末 2024年 8月26日	第50期末 2024年 9月26日	第51期末 2024年10月28日	第52期末 2024年11月26日	第53期末 2024年12月26日	第54期末 2025年 1月27日
純資産総額	(円)	5,035,077,107	5,047,637,605	5,408,425,097	5,413,943,558	5,415,258,264	5,394,794,477
受益権総口数	(口)	4,536,707,743	4,533,050,109	4,554,485,955	4,541,352,782	4,513,212,672	4,530,897,493
1万口当たり基準価額	(円)	11,099	11,135	11,875	11,921	11,999	11,907

※当作成期における、追加設定元本額は457,629,353円、解約元本額は465,788,051円です。

組入上位ファンドの概要

世界新時代株式マザーファンド(2023年7月27日から2024年7月26日まで)

基準価額の推移



1万口当たりの費用明細

(単位：円)

項 目	(内訳)	金額	(内訳)
売買委託手数料	(株式)	7	(7)
有価証券取引税	(株式)	2	(2)
そ の 他 費 用	(保管費用)	2	(2)
	(その他)		(0)
合計		11	

※項目の概要については、前記「費用明細」をご参照ください。

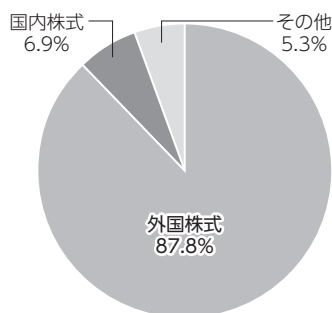
組入上位銘柄

(基準日：2024年7月26日)

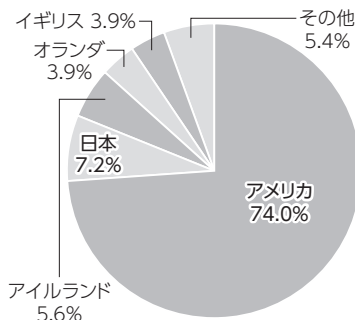
	銘柄名	業種	組入比率
1	NVIDIA CORP	半導体・半導体製造装置	7.5%
2	MICROSOFT CORP	ソフトウェア・サービス	6.7%
3	SERVICENOW INC	ソフトウェア・サービス	4.9%
4	ALPHABET INC-CL C	メディア・娯楽	4.1%
5	FERRARI NV	自動車・自動車部品	3.7%
6	TRADEWEB MARKETS INC-CLASS A	金融サービス	3.6%
7	SYNOPSYS INC	ソフトウェア・サービス	3.6%
8	ADOBE INC	ソフトウェア・サービス	3.6%
9	ARES MANAGEMENT CORP - A	金融サービス	3.3%
10	ELI LILLY & CO	医薬品/バイオテクノロジー/ライフサイエンス	3.2%
全銘柄数		41銘柄	

※比率は、純資産総額に対する割合です。
※全組入銘柄につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

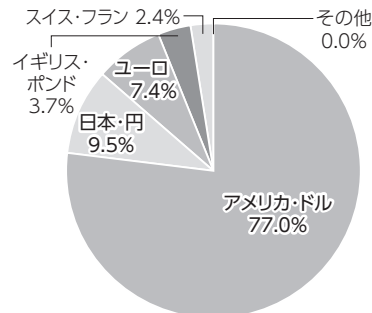
資産別配分（純資産総額比）



国別配分（ポートフォリオ比）



通貨別配分（純資産総額比）



※未収・未払金等の発生により、数値がマイナスになることがあります。

※基準日は2024年7月26日現在です。